

Offirio CS-7000

EPSON

セットアップガイド

本書は、コピーユニット、ネットワークスキャンングボックス、FAXボックスのセットアップ方法について記載しています。



1 設置する前にお読みください

2 各機器の準備

3 ネットワークスキャンング
ボックスの取り付け

4 FAXボックスの取り付け

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド(本書)



CS-7000、プリンタ、スキャナ、各オプションの設置や接続の手順について記載しています。

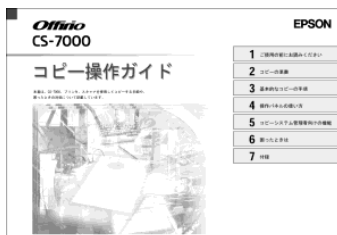
セットアップを代理店に依頼される場合は、本書をお読みになる必要はありません。

FAX操作ガイド



CS-7000、プリンタ、スキャナ、FAXボックスを使用してFAX機能を使う手順や、困ったときの対処について説明しています。

コピー操作ガイド



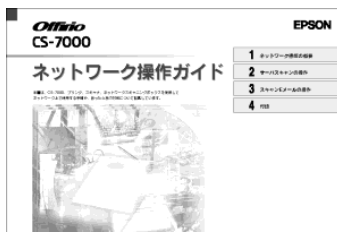
CS-7000、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について説明しています。

クイックガイド



コピーとFAXの日常使用において役に立つ情報をまとめて簡単に記載しています。本ガイドは、本製品の近くに置いてお使いください。

ネットワークガイド



CS-7000、プリンタ、スキャナ、ネットワークスキャニングボックスを使用してネットワーク上で使用する手順や、困ったときの対処について説明しています。

もくじ

もくじ	1
本文中のマーク、表記について	2

設置する前にお読みください

本システムの概要	3
システム構成	3
セットアップの流れ	4
設置に必要なスペース	6
専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用する場合	6
専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用しない場合	7
設置上のご注意	9

各機器の準備

スキャナの準備	10
スキャナに取り付ける部品	10
取り付け手順	10
スキャナビボタンについて	11
注意事項のシールについて	11
プリンタの準備	12
プリンタに取り付ける部品	12
取り付け手順（LP-9500C/LP-9500CZ の場合）	13
取り付け手順（LP-9000B/LP-9000C の場合）	16
コピーユニットの準備	20
専用スキャナスタンドへの取り付け	20
専用スキャナスタンドを使用しない場合	21
ケーブルの接続	22
接続するケーブル	22
接続手順	22
ケーブルの固定について	23
動作確認	24
電源のオン	24
電源のオフ	25

ネットワークスキャニングボックスの取り付け

ネットワークスキャニングボックスについて	26
ネットワークスキャニングボックスの取り付け	27
ケーブルの固定	29

FAX ボックスの取り付け

FAX ボックスについて	30
FAX ボックスの取り付け	30
ケーブルの固定	32

本文中のマーク、表記について

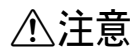
マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容、本システムが正常に動作しないと思われる内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。



ポイント

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

イラストについて

本書に掲載するプリンタ本体のイラストは、基本として LP-9500CZ のイラストを使用しています。お使いの機種に置き換えてご覧ください。

設置する前にお読みください

ここでは、コピーシステムを設置するために必要なスペースや、設置上のご注意などについて説明しています。

● 本システムの概要	3
● セットアップの流れ	4
● 設置に必要なスペース	6
● 設置上のご注意	9

本システムの概要

本システムは、EPSON カラーレーザープリンタとネットワークスキャナに、コピーユニットを組み合わせたコピーシステムです。
本システムを構成可能な機種は以下の説明を参照してください。

システム構成

本システムを構成可能な機種は以下の通りです。

	製品型番	備考
プリンタ	LP-9500C LP-9500CZ LP-9000C LP-9000B	- 本システムの必須メモリは 192MB です (推奨 256MB 以上)。 - ハードディスク (オプション装着時) は、コピーデータのスプールまたは丁合い処理用としても使用されます。
スキャナ	ES-9000H ES-7000H ES-6000HS ES-6000H	- オプションスロット (IEEE 1394 I/F カード用) は使用できません。 - ES-9000H/ES-7000H は、SCSI コネクタにコンピュータまたはネットワークスキャニングボックスを接続して使用できます。 - ES-6000HS/ES-6000H は、SCSI コネクタにネットワークスキャニングボックスを接続して使用できます。コンピュータを接続することはできません (EPSON Scan Server 用のコンピュータを除く)。

オプション

	製品型番	備考
オプション	CSCBN7A (専用スキャナスタンド)	LP-9500C/LP-9500CZ 専用のスキャナスタンドです。
	CSCBN8A (専用スキャナスタンド)	LP-9000B/LP-9000C、LP-9500C/LP-9500CZ 用のスキャナスタンドです。
	ESNSB2 (ネットワークスキャニングボックス)	スキャナをネットワーク上で使用するためのオプションです。
	ESNSB1 (ネットワークスキャニングボックス)	
	CSFAX1 (FAX ボックス)	ファックス機能を使用するためのオプションです。

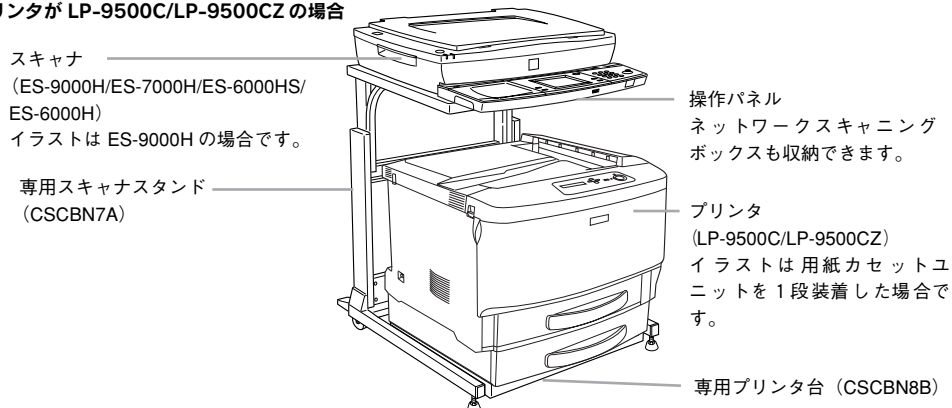


ポイント

- 専用スキャナスタンドの中にプリンタを入れる場合、次のオプションを使用してください。
 - LP-9500C/LP-9500CZ：専用プリンタ台 (CSCBN8B)
 - LP-9000B/LP-9000C：増設カセットユニットキャスター付き (LPA3CZ1CC2)
- コピーユニットにすべてのオプションを装着した場合は、電圧が AC 100V のコンセントが 4 口必要です。

システム全体図

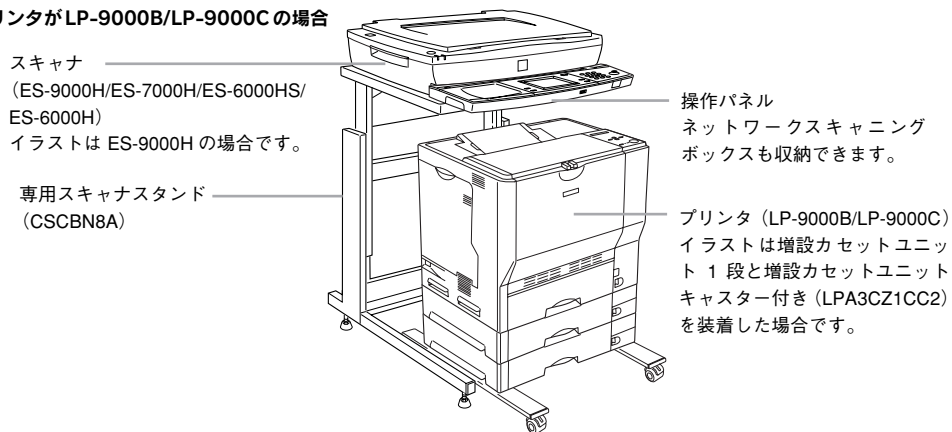
プリンタが LP-9500C/LP-9500CZ の場合



ポイント

LP-9500C/LP-9500CZ の横幅は専用スキャナスタンドの幅より広い
ため、そのままではスタンドに入れることはできません。図のよう
に、専用スキャナスタンドの中にプリンタを入れるには、プリンタ
に専用プリンタ台 (CSCBN8B) が装着されている必要があります。

プリンタが LP-9000B/LP-9000C の場合



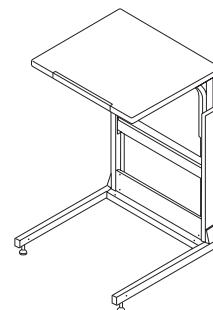
ポイント

- 図のように、専用スキャナスタンドの中にプリンタを入れるには、プリンタに増設カセットユニットキャスター付き (LPA3CZ1CC2) を装着して、専用スキャナスタンドとピン (2 本) で固定する必要があります。
- 操作パネルの位置が高くなりすぎないように、プリンタに装着する増設カセットユニットは、最大 2 段まででお使いいただくことをお勧めします。

セットアップの流れ

以下の手順で、それぞれの取扱説明書を参照してセットアップを行います。

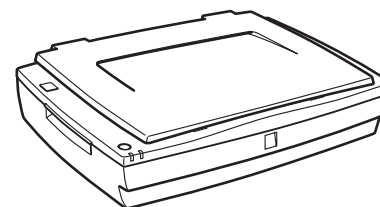
- 1 設置スペースおよび設置上の注意を確認します。
本書 6 ページ「設置に必要なスペース」
- 2 専用スキャナスタンド (オプション) を組み立てます。
スキャナスタンドを使用しない場合は、3 へ進みます



図は専用スキャナスタンド (CSCBN7A) の場合です。

専用スキャナスタンド同梱の説明書

- 3 スキャナをセットアップします。
電源の接続と動作確認まで行います。

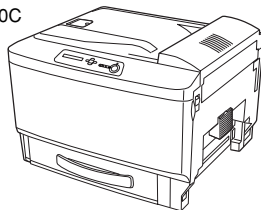


スキャナに同梱のスタートアップガイド

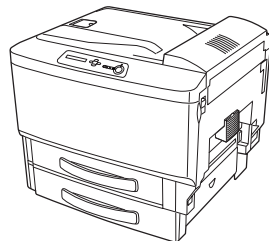
(ES-9000H の場合、製造時期によっては「ユーザズガイド」のみ同梱されています。この場合、セットアップ方法は「ユーザズガイド」に記載されていますので、そちらを参照してください。)

- 4 プリンタをセットアップします。
電源の接続と動作確認まで行います。

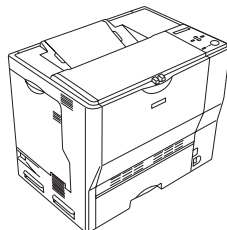
LP-9500C



LP-9500CZ



LP-9000B/LP-9000C

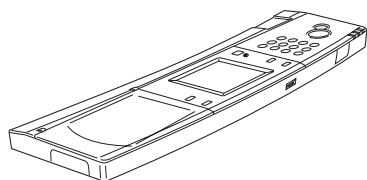


☞ プリンタに同梱のスタートアップガイド



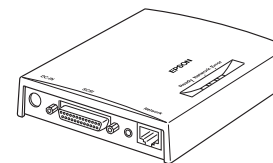
プリンタの電源プラグは、コンセントに単独で差し込んでください。たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続、および各オプションの電源を接続しているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。

- 5 本機に同梱の付属品をプリンタおよびスキャナと接続します。



☞ 本書 10 ページ「各機器の準備」

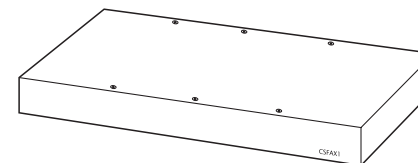
- 6 ネットワークスキャニングボックス（オプション）を接続します。
ネットワークスキャニングボックスを使用しない場合は、7 へ進みます。



イラストは ESNSB2 の場合です。

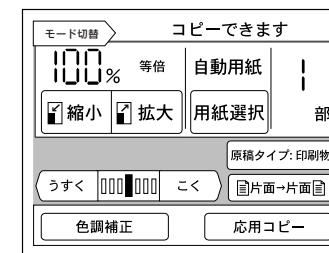
☞ 本書 26 ページ「ネットワークスキャニングボックスについて」

- 7 FAX ボックス（オプション）を接続します。
FAX ボックスを使用しない場合は、8 へ進みます。



☞ 本書 30 ページ「FAX ボックスについて」

- 8 動作確認をします。
以下の画面が表示されると、すべてのセットアップは終了です。



使用するスキャナや装着されているオプションにより、画面の内容が多少異なります。

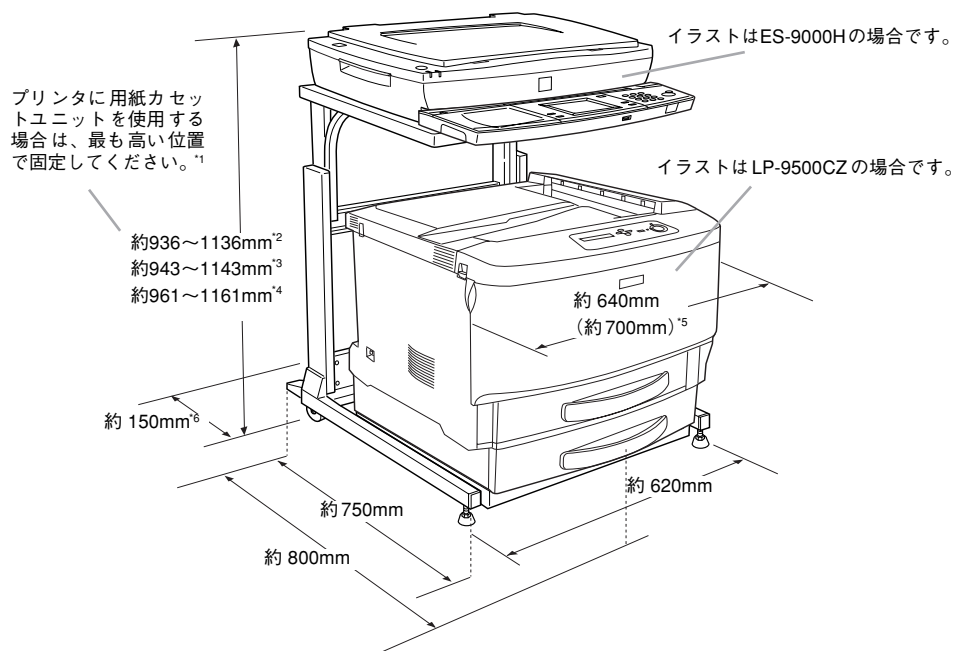
設置に必要なスペース

ここでは、オプションの専用スキャナスタンド、専用プリンタ台を使用する場合と使用しない場合に分けて、各機器を設置するために必要なスペースを示します。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用する場合

プリンタが LP-9500C/LP-9500CZ の場合

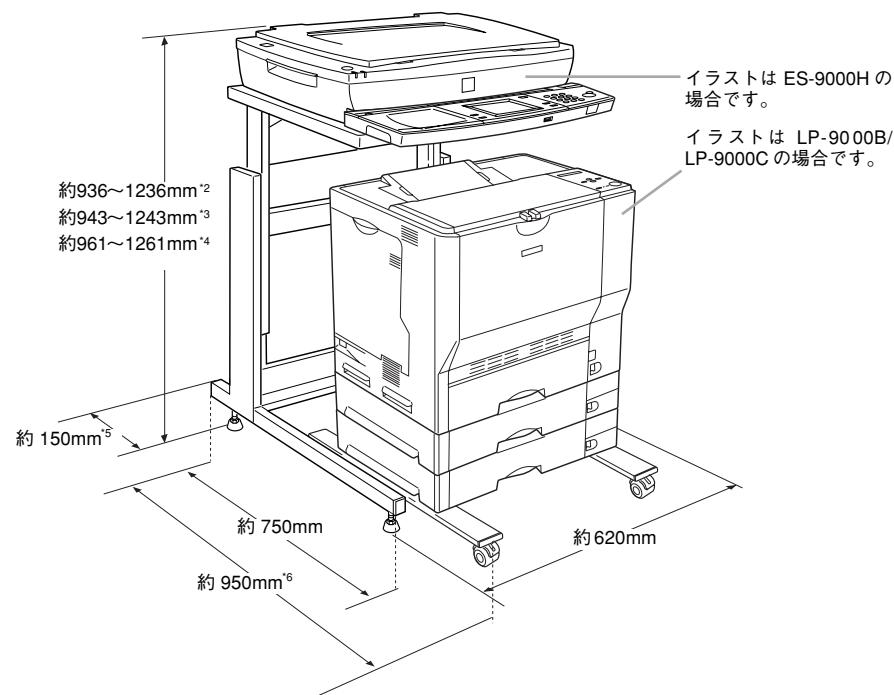
専用スキャナスタンド（型番：CSCBN7A）／専用プリンタ台（型番：CSCBN8B）



- *1 専用スキャナスタンドは、高さを 50mm ごとに 5 段階に調節できます。
専用スキャナスタンドの高さ調節は、スタンド上部と下部を固定するボルト（ネジ）を差し込む穴を変える
ことで行います。調整方法については、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説明書を参照してください。
- *2 スキャナが ES-9000H の場合です。
- *3 スキャナが ES-7000H の場合です。
- *4 スキャナが ES-6000HS/ES-6000H の場合です。
- *5 オプションの両面印刷ユニット装着時の数値です。
- *6 専用スキャナスタンドの背面には 150mm 以上のすき間が必要です（プリンタ背面およびスキャナの背面に
は 100mm 以上のすき間が必要です）。

プリンタが LP-9000B/LP-9000C の場合

専用スキャナスタンド` (型番: CSCBN8A) /
増設力セットユニットキャスト付き (LPA3CZCC2)



- *1 専用スキャナスタンドは、高さを 50mm ごとに 7 段階に調節できます。
専用スキャナスタンドの高さ調節は、スタンド上部と下部を固定するボルト（ネジ）を差し込む穴を変えることで行います。調整方法については、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説明書を参照してください。
- *2 スキャナが ES-9000H の場合です。
- *3 スキャナが ES-7000H の場合です。
- *4 スキャナが ES-6000HS/ES-6000H の場合です。
- *5 専用スキャナスタンドの背面には 150mm 以上のすき間が必要です（プリンタ背面およびスキャナの背面には 100mm 以上のすき間が必要です）。
- *6 用紙カセットを引き延ばして使用するときのためにプリンタ背面とスキャナスタンドの間には約 220mm 以上のすき間が必要です。

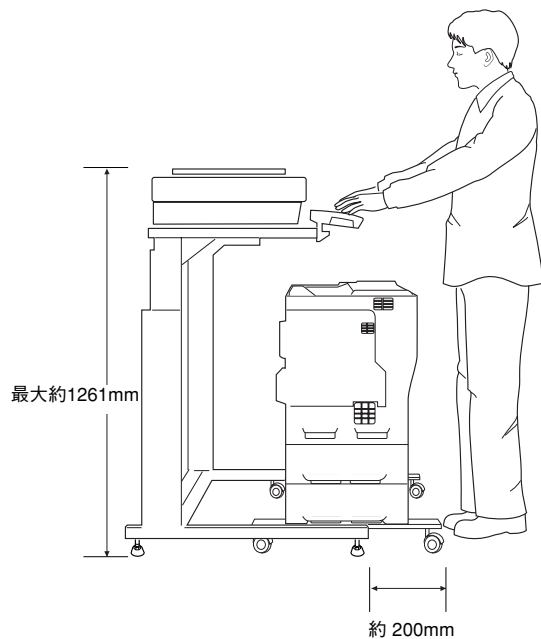


ポイント

用紙が詰まったときなどプリンタ上部のBカバーを開ける場合は、プリンタをスキャナスタンドから引き出してから開けてください。その際、プリンタとスキャナスタンドを固定しているピン（2本）を外す必要があります。



プリンタ（LP-9000B/LP-9000C）に装着した増設カセットユニットキャスター付き（LPA3CZCC2）のキャスター部分は、スキャナスタンドから手前に約200mm 突き出た状態になります。つまづかないように注意してください。



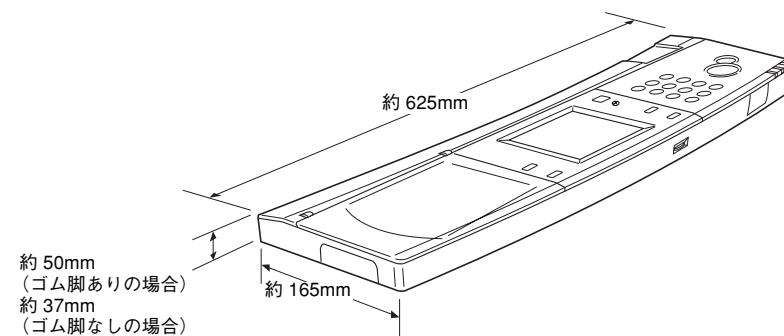
操作パネルの位置が高くなりすぎないように、プリンタの増設カセットユニットは、最大2段まででお使いいただくことをお勧めします。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用しない場合

プリンタ、スキャナを並べて設置します。各機器の設置に必要なスペースは次の通りです。

CS-7000（操作パネル）

操作パネルの寸法は次の通りです。ボタンの操作に支障のないスペースを確保してください。



プリンタ

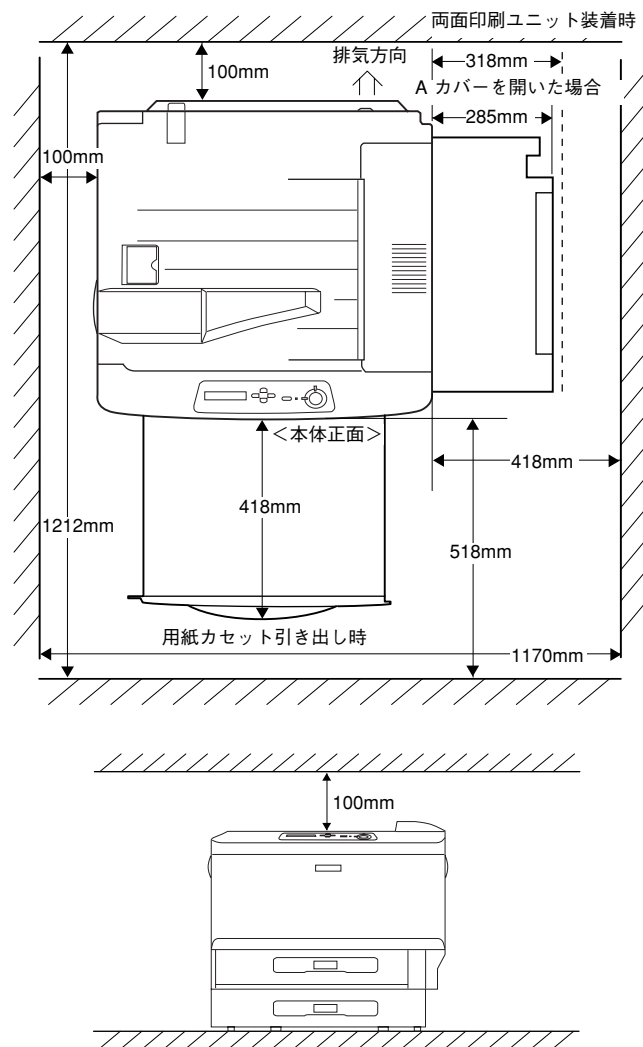
プリンタの設置についての詳細は、プリンタに添付の「開梱と設置作業を行われる方へ」をご覧ください。

プリンタの周囲には、作業がしやすいように十分なスペースを確保してください。

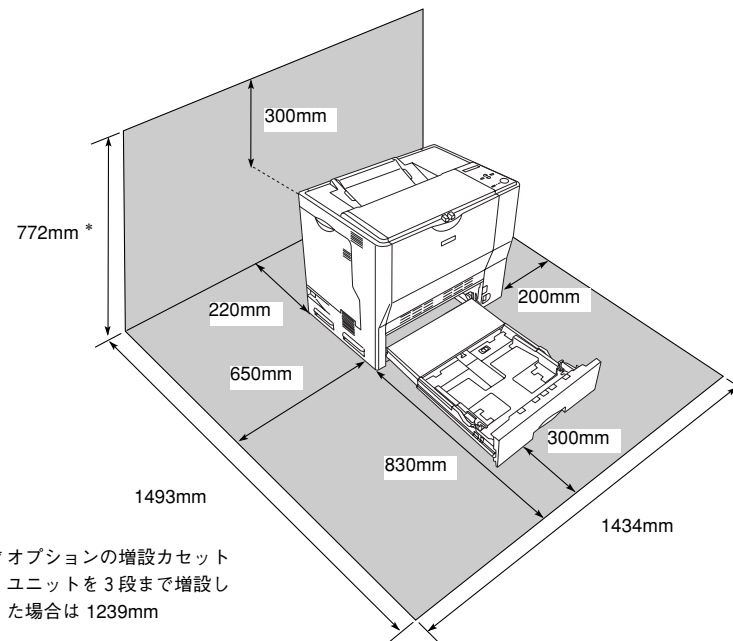


プリンタの上に、スキャナや CS-7000 の操作パネルを重ねないでください。故障の原因になります。

LP-9500C/LP-9500CZ



LP-9000B/LP-9000C



* オプションの増設カセットユニットを3段まで増設した場合は 1239mm

スキャナ (ES-9000H/ES-7000H/ES-6000HS/ES-6000H)

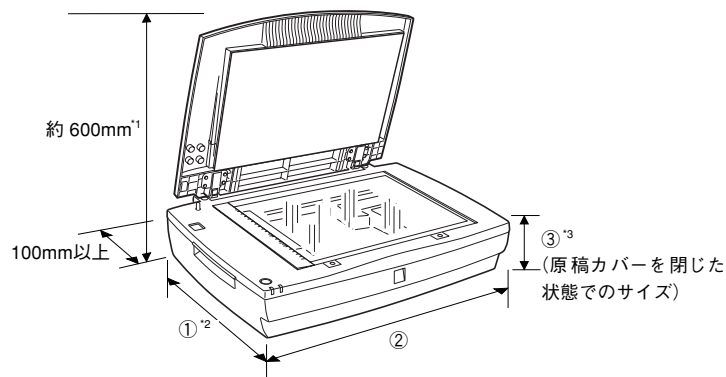
スキャナの設置についての詳細は、スキャナに添付の次の取扱説明書をご覧ください。

📖 スキャナに同梱のスタートアップガイド

(ES-9000Hの場合、製造時期によっては「ユーザーズガイド」のみ同梱されています。この場合、セットアップ方法は「ユーザーズガイド」に記載されていますので、そちらを参照してください)

スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保してください。

図はES-9000Hです。



	ES-9000H	ES-7000H	ES-6000HS/ES-6000H
①	約 450mm	約 460mm	約 460mm
②	約 660mm	約 660mm	約 660mm
③	約 150mm	約 160mm	約 180mm

*1 オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ) を装着した場合は約 620mm

*2 オプションの ADF を装着した場合は約 490mm

*3 オプションの ADF を装着した場合は約 280mm

設置上のご注意

プリンタ、スキャナごと設置の際にご注意いただく事項が異なります。それぞれの取扱説明書をご参照の上、設置してください。

次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
		 ☀ 10～32℃ 💧 15～80%

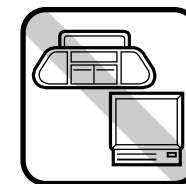
各機器は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水にぬれやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房機具に近い場所	振動のある場所



注意

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。



各機器の準備

ここでは、コピーユニットと各機器の接続方法について説明しています。

● スキャナの準備	10
● プリンタの準備	12
● コピーユニットの準備	20
● ケーブルの接続	22
● 動作確認	24

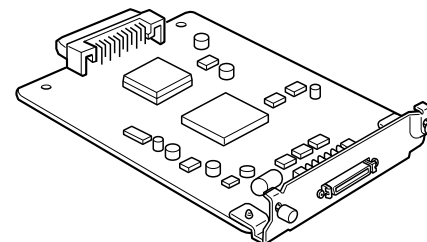
スキャナの準備

本製品に同梱の部品をスキャナに取り付けます。

スキャナに取り付ける部品

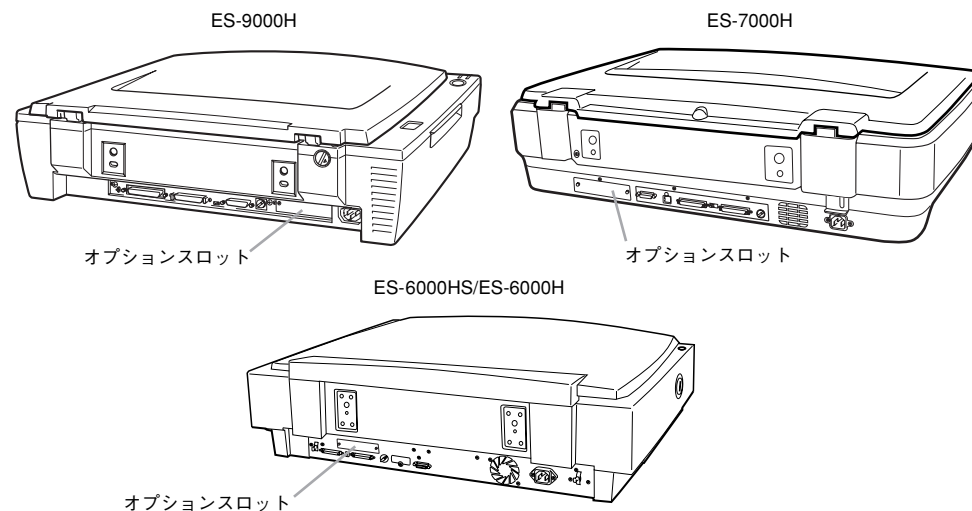
スキャナに取り付ける部品は以下の通りです。

- スキャナ用 I/F カード：1 枚



取り付け手順

スキャナ背面のオプションスロットのカバーを外し、本製品に同梱のスキャナ用 I/F カードを取り付けます。

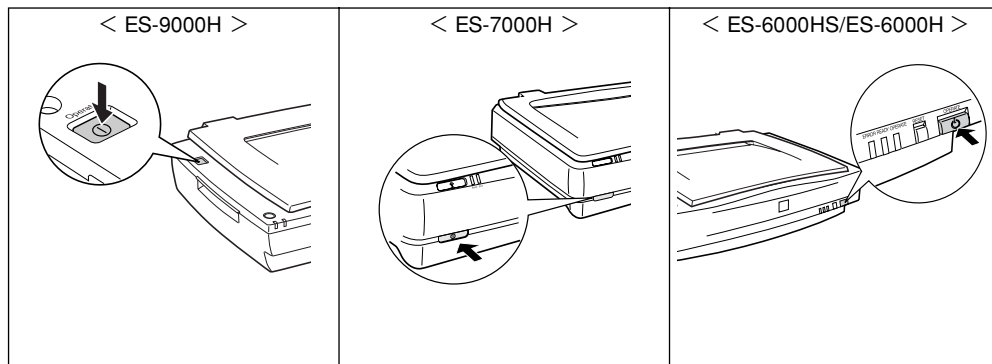


取り付け作業にはプラスドライバーが必要です。ご用意ください。



必ずスキャナの電源をオフにして作業を行ってください。電源がオンの状態で I/F カードを取り付けるとスキャナおよび I/F カードの故障の原因になります。

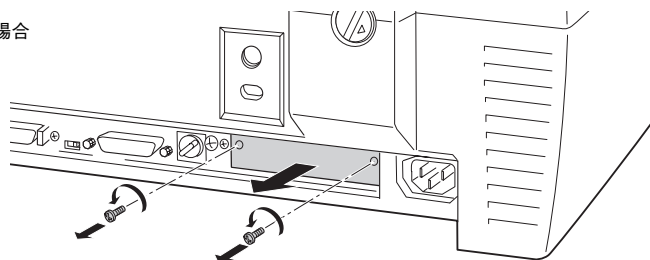
1 スキャナの電源をオフにします。



2 オプションスロットのカバーを取り外します。

カバー内側のネジ（2本）を外します。

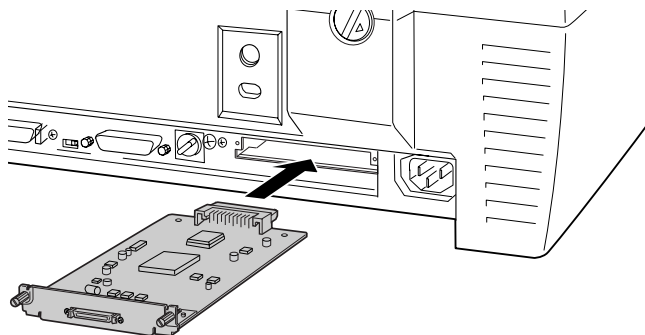
ES-9000H の場合



3 スキャナ用 I/F カードを、オプションスロットに差し込みます。

I/F カードの部品が実装されている面を上にして、スロット左右のガイドに沿ってまっすぐ差し込み、先端のコネクタがスロット奥のソケットに差し込まれる手応えがあるまで差し込んでください。

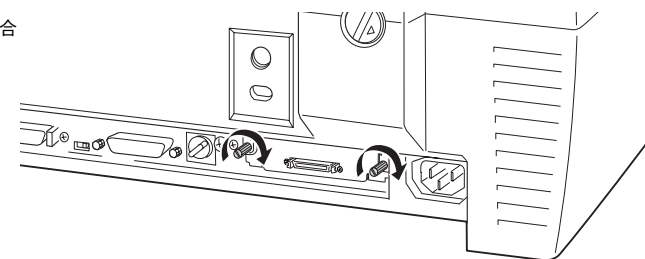
ES-9000H の場合



4 I/F カードを固定します。

I/F カード背面のネジ（2本）で固定します。

ES-9000H の場合



以上でスキャナ用 I/F カードの取り付けは終了です。
次にプリンタに付属品を取り付けます。

スキャナビボタンについて

コピーシステムとして使用される場合、スキャナビボタンは使用できません。誤って操作しないよう、同梱のシールをスキャナビボタンに貼ってください。

注意事項のシールについて

本製品には、禁止されているコピーを行わないよう、「コピー禁止事項」を記載したシールが同梱されています。このシールはスキャナに貼ってご使用ください。
また、ES-6000HS/ES-6000H をご使用の場合、同梱の「ES-6000HS ES-6000H をご利用のお客様」シールを貼ってご使用ください。

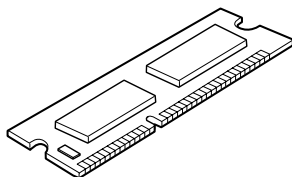
プリンタの準備

本製品に同梱の部品をプリンタに取り付けます。

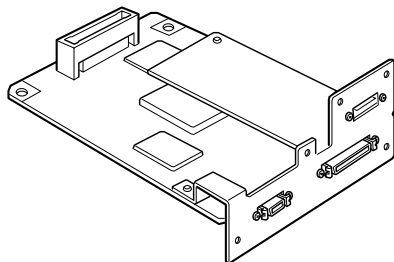
プリンタに取り付ける部品

プリンタに取り付ける部品は次の通りです。

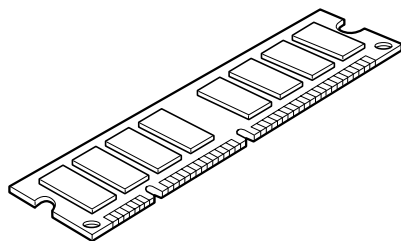
- CS-7000 ROM モジュール：1 枚



- プリンタ用 I/F カード：1 枚
(CS-7000 に同梱のネジ (1 本) と、プリンタ背面のネジ (5 本) で固定します。)



- 増設メモリ (128MB)：1 枚
(CS-7000 に同梱の増設メモリは、容量 128MB のものが 1 枚です。プリンタのメモリは、最大 1024MB まで増設できるため、必要に応じて市販の増設メモリを用意してください。)



ポイント

本製品に同梱の増設メモリの他に、増設メモリを用意している場合も、次ページ以降の説明を参照して増設メモリの取り付けを行ってください。

プリンタ用 I/F カードについて



警告

指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。



注意

オプションの装着は、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



注意

取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

プリンタをカラーコピーシステムとしてお使いになる場合、プリンタ搭載メモリ容量は 192MB (標準搭載メモリ 64MB+ 増設メモリ 128MB) 以上が必須条件となります (推奨 256MB 以上)。

標準搭載メモリ (64MB) だけでは使用できません。本製品に同梱の増設メモリ (128MB) や、市販の増設メモリを、本書の手順に従って取り付けてください。

DRAM タイプ	SDRAM (シンクロナス DRAM) PC100 または PC133 仕様 CL=2
容量	64MB、128MB、256MB、512MB
形状	168 ピン DIMM (デュアルインラインパッケージ)
データバス幅	64bit
SPD	あり



ポイント

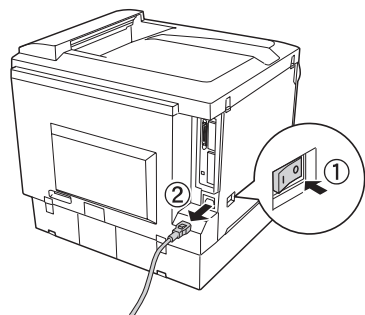
両面、あるいは高精細でコピー処理を行う場合、扱う画像の内容やサイズによっては、メモリ不足でコピーできないことがあります。

このような場合には、メモリを増設するか、原稿タイプを高精細以外に設定する、あるいは片面でのコピーに設定するなどの必要があります。

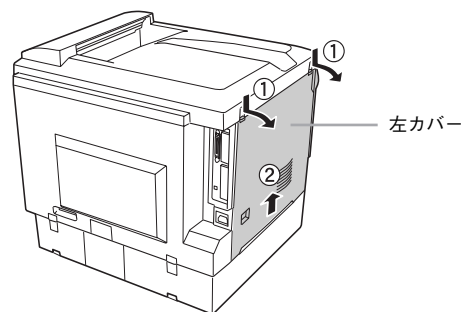
取り付け手順 (LP-9500C/LP-9500CZ の場合)

取り付け作業にはプラスドライバーが必要です。ご用意ください。また、先端が磁石になっているドライバーを使用してください。

- 1 プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外します。



- 2 プリンタの左カバーを取り外します。



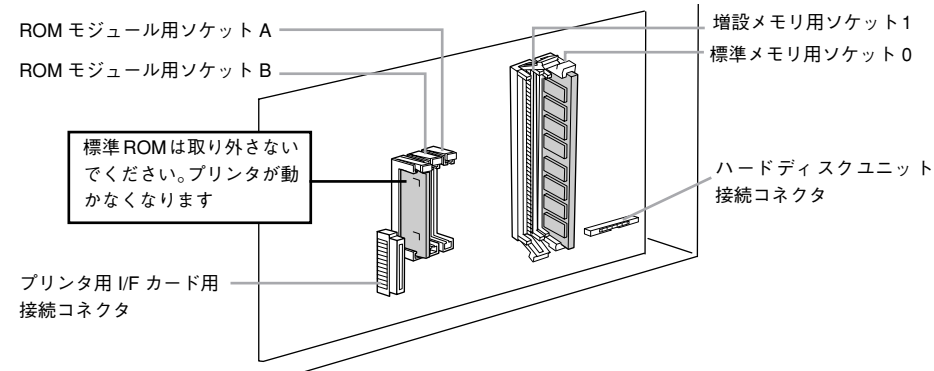
注意

プリンタの左カバーを開けたときは、基板上の注意シールの貼ってある部分に手を触れないでください。基板上は高温になっている部分があるため、火傷のおそれがあります。

- 3 プリンタ本体内のソケットの位置を確認します。

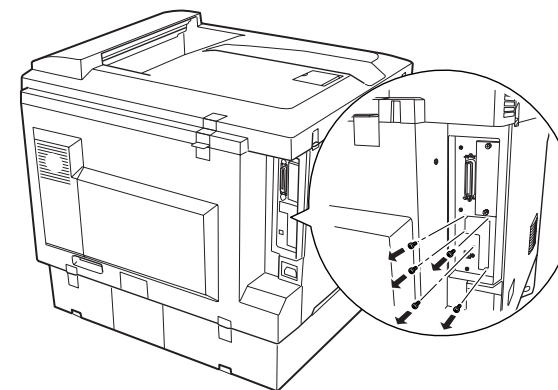


標準メモリ用ソケット 0 に装着されているメモリ (64MB) も大容量のものに交換できます。ただし、ソケット 0 には必ずメモリを取り付けておいてください。プリンタが動作しなくなります。

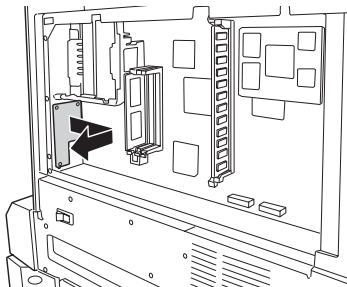


- 4 プリンタ用 I/F カードを取り付けます。

- ① プリンタ本体背面のコネクタカバーを取り外します。
コネクタカバーのネジ (5 箇所) を取り外します。



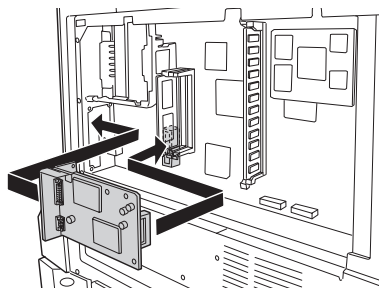
② コネクタカバーを取り外します。



コネクタカバーを取り外す際は、基板上の部品に触れないよう、コネクタカバーの端を持ってください。

③ プリンタ背面の差込み口にコネクタを合わせます。

④ プリンタ用 I/F カードをプリンタ側のソケットに差し込みます。



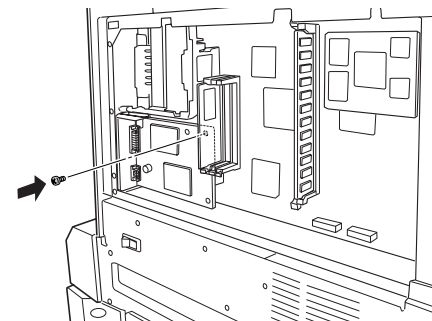
プリンタ用 I/F カードを扱う際は、基板上の部品に触れないよう、I/F カードの端を持ってください。

⑤ 同梱のネジ（1 本）で固定します。



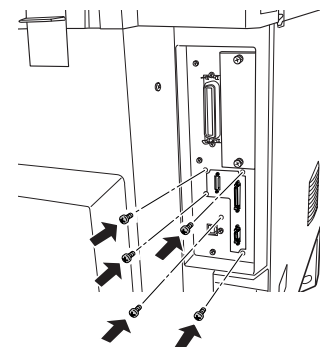
ポイント

ここでは、本製品に同梱のネジのうち、座金のない、ネジ溝の間隔が狭いネジ（1 本）を使用してください。



⑤ プリンタ用 I/F カード背面を固定します。

手順④の①で取り外したネジ（5 本）を使用して固定します。



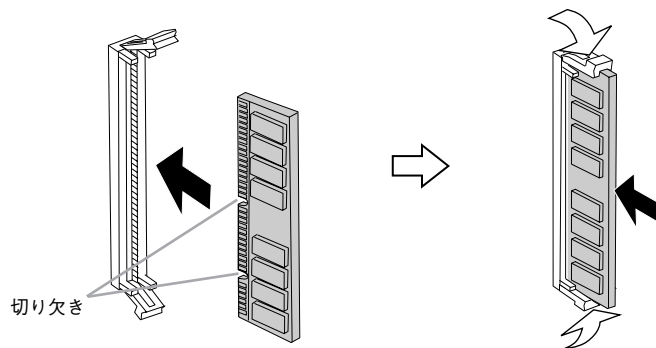
6 本製品に同梱の増設メモリを取り付けます。



- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。
- 取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

どのソケットから装着してもかまいません。また、1枚のみの装着でもかまいません。ただし、ソケット0には必ずメモリを装着してください。

増設メモリの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐにソケットに差し込みます。正しく差し込まれると、ソケット上下のツメで固定されます。



メモリを無理に押し込まないでください。スロットとメモリの取り付け方向を確認して、メモリが破損しないように、ゆっくりとスロットに押し込んでください。

7 本製品に同梱のROM モジュールを取り付けます。

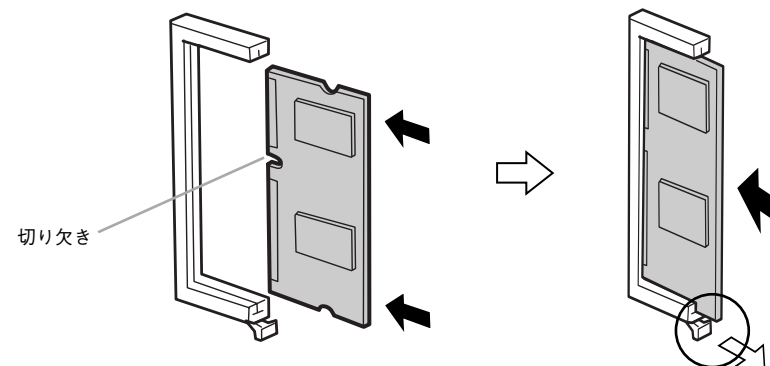


取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

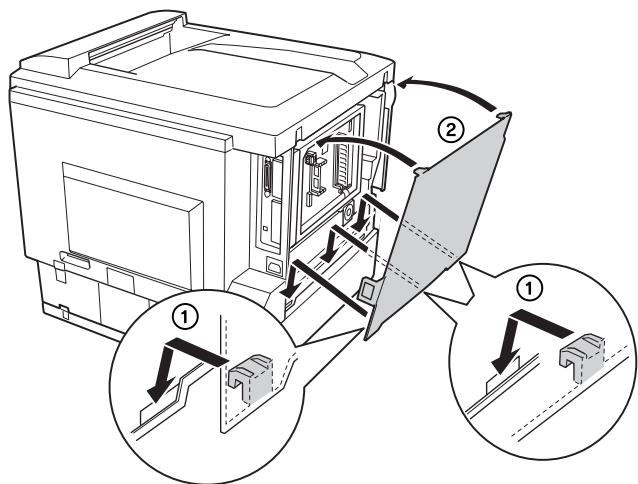


- 本製品のROMモジュールは、ソケット A または B どちらに装着してもかまいません。
- プリンタ用オプションのフォームオーバーレイROMモジュールは、ソケット A に装着した場合のみフォームデータを登録できます。このため、フォームオーバーレイ ROM モジュールと一緒に装着する場合、本製品のROMモジュールはソケット B に装着することをお勧めします（登録済のデータを読み出す場合、フォームオーバーレイ ROM モジュールは、ソケット A、B どちらでも構いません）。
- プリンタ用オプションの PS3 モジュールは、ソケット B に装着します。その場合、本機のROMモジュールはソケット A に装着します。

ROM モジュールの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。正しく装着されると、ソケット上部のツメがROM モジュールの切り欠きにかみ合い、ソケット端の○印の部分が飛び出した状態になり、ROM モジュールが固定されます。



- 8 ②で取り外したカバーをプリンタに取り付けます。
カバー下のツメ（3箇所）をプリンタ側に引っかけてから取り付けます。



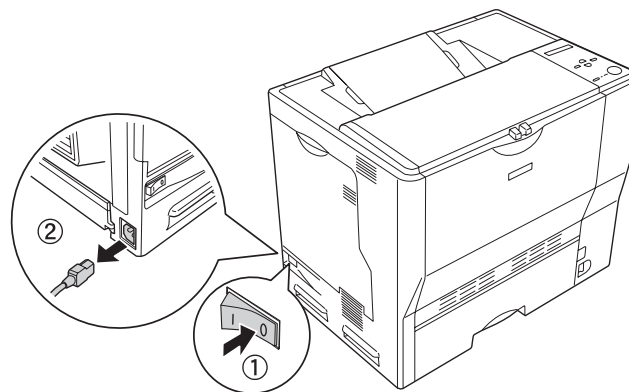
- 9 取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。

以上でプリンタ側のセットアップは終了です。
次に専用スキャナスタンドに付属品を取り付けます。
専用スキャナスタンドを使用しない場合は、以下のページへ進みます。
🔗 本書 22 ページ「ケーブルの接続」

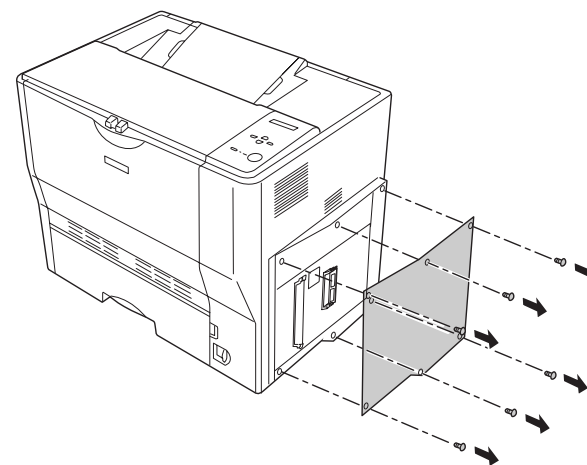
取り付け手順（LP-9000B/LP-9000C の場合）

取り付け作業にはプラスドライバーが必要です。ご用意ください。また、先端が磁石になっているドライバを使用してください。

- 1 プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。



- 2 右カバーのネジ（6本）を外して、右カバーを取り外します。

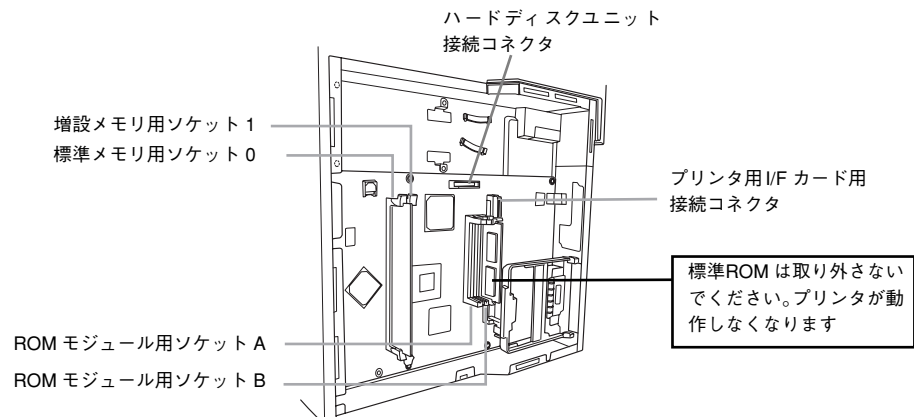


注意 基板上は高温（約 85 度）になっている部分があるため、火傷のおそれがあります。作業に必要な場所には触れないようにしてください。

3 プリンタ本体内のソケットの位置を確認します。

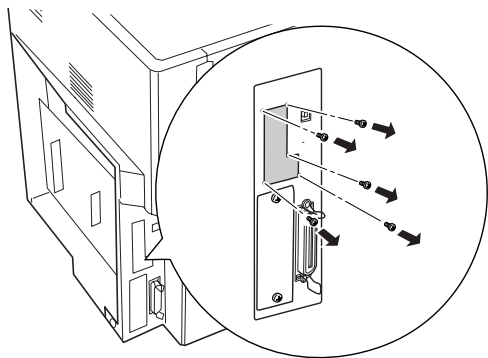


標準メモリ用ソケット 0 に装着されているメモリ (64MB) も大容量のものに交換できます。ただし、ソケット 0 には必ずメモリを取り付けておいてください。プリンタが動作しなくなります。

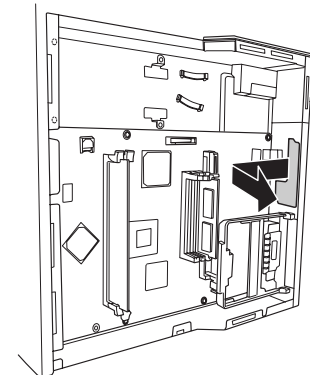


4 プリンタ用 I/F カードを取り付けます。

- ① プリンタ本体背面のコネクタカバーを取り外します。
コネクタカバーのネジ (5 箇所) を取り外します。

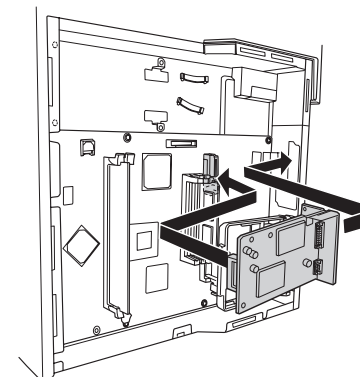


- ② コネクタカバーを取り外します。



コネクタカバーを取り外す際は、基板上の部品に触れないよう、コネクタカバーの端を持ってください。

- ③ プリンタ背面の差込み口にコネクタを合わせます。
④ プリンタ用 I/F カードをプリンタ側のソケットに差し込みます。



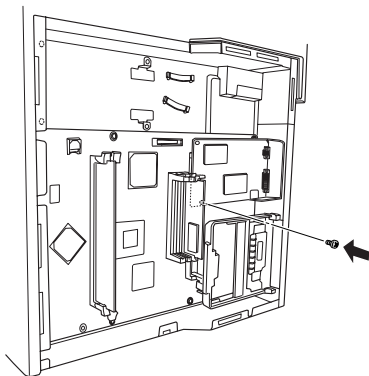
プリンタ用 I/F カードを扱う際は、基板上の部品に触れないよう、I/F カードの端を持ってください。

⑤ 同梱のネジ（1本）で固定します。



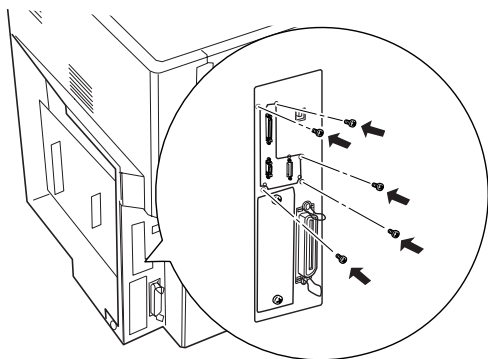
ポイント

ここでは、本製品に同梱のネジのうち、座金のない、ネジ溝の間隔が狭いネジ（1本）を使用してください。



⑤ プリンタ用 I/F カード背面を固定します。

手順④の①で取り外したネジ（5本）を使用して固定します。



⑥

本製品に同梱の増設メモリを取り付けます。

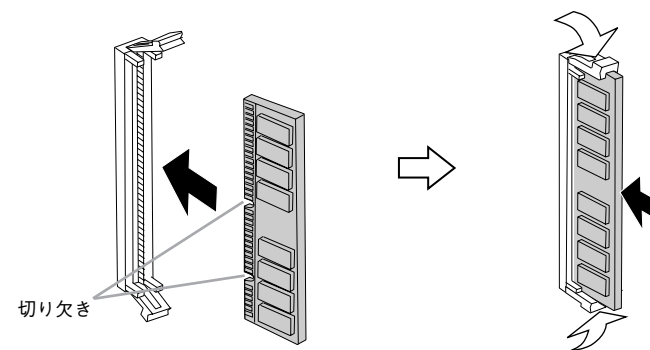


注意

- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。
- 取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

どのソケットから装着してもかまいません。また、1枚のみの装着でもかまいません。ただし、ソケット0には必ずメモリを装着してください。

増設メモリの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐにソケットに差し込みます。正しく差し込まれると、ソケット上下のツメで固定されます。



注意

メモリを無理に押し込まないでください。スロットとメモリの取り付け方向を確認して、メモリが破損しないように、ゆっくりとスロットに押し込んでください。

7 本製品に同梱のROM モジュールを取り付けます。

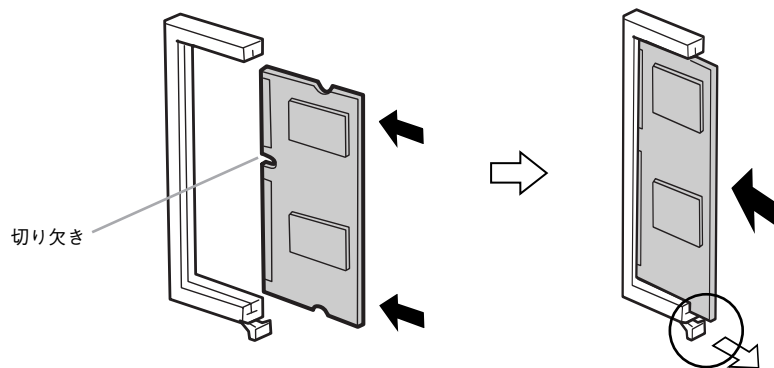


取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

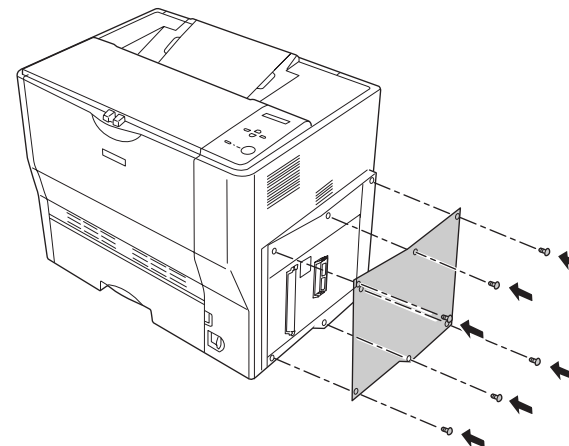


- 本製品のROM モジュールは、ソケットAまたはB どちらに装着してもかまいません。
- プリンタ用オプションのフォームオーバーレイ ROMモジュールは、ソケットA に装着した場合のみフォームデータを登録できます。
このため、フォームオーバーレイ ROM モジュールと一緒に装着する場合、本製品のROM モジュールはソケットB に装着することをお勧めします（登録済のデータを読み出す場合、フォームオーバーレイ ROM モジュールは、ソケットA、B どちらでも構いません）。

ROM モジュールの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。正しく装着されると、ソケット上部のツメがROM モジュールの切り欠きにかみ合い、ソケット端の○印の部分が飛び出した状態になり、ROM モジュールが固定されます。



8 2 で取り外した右カバーをプリンタに取り付けてから、ネジ（6 本）で固定します。



9 取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。

以上でプリンタ側のセットアップは終了です。
次に専用スキャナスタンドに付属品を取り付けます。
専用スキャナスタンドを使用しない場合は、以下のページへ進みます。
 本書 22 ページ「ケーブルの接続」

コピーユニットの準備

本製品の操作パネルや各ケーブルの取り付け手順を説明します。

専用スキャナスタンドへの取り付け

オプションの専用スキャナスタンド（型番：CSCBN7A、CSCBN8A）にCS-7000の操作パネルを取り付けます。

専用スキャナスタンドを使用しない場合は、以下のページへ進みます。

📖 本書 21 ページ「専用スキャナスタンドを使用しない場合」

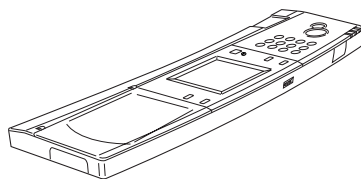


ポイント

- 操作パネルの専用スキャナスタンドへの取り付けは、本製品に同梱の操作パネル取付板とネジ（5 本）、および専用スキャナスタンドに同梱のネジ（4 本）が必要です。
- 操作パネルと操作パネル取付板は、操作パネル用 I/F ケーブルを接続した後に取り付けてください。操作パネルを取り付けた後で、I/F ケーブルを接続することはできません。

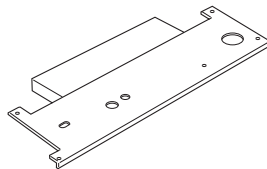
専用スキャナスタンドに取り付ける部品

- 操作パネル

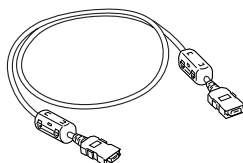


- 操作パネル取り付け板

本製品に同梱のネジ（5 本）で操作パネルに取り付けてから、専用スタンドに同梱のネジ（4 本）で専用スキャナスタンドに固定します。



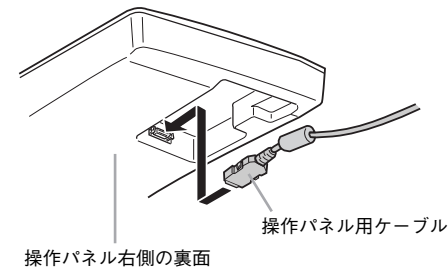
- 操作パネル用 I/F ケーブル



取り付け手順

取り付け作業にはプラスドライバーが必要です。

- 1 操作パネルのコネクタに、操作パネル用ケーブルを接続します。
ケーブルのどちら側を接続しても、かまいません。

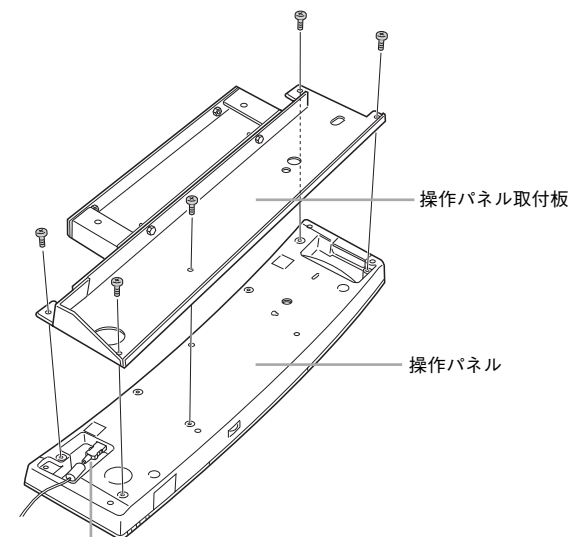


ポイント

コネクタ部はカバーで覆われていますので、ケーブルを外すときは側面のバネ部をしっかりと押しながら外してください。

- 2 操作パネルに操作パネル取付板を取り付けます。

本製品に同梱のネジ（5 本）で取り付けます。座金のついていない、ネジ溝の広いネジを使用してください。



操作パネル用ケーブルのコア（円筒形の部品）は、この中に入れてください。



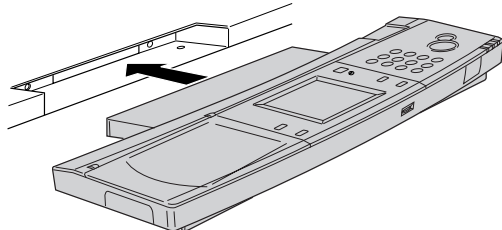
注意

操作パネルと操作パネル取付板をネジで固定する際、次の点に注意してください。

- 操作パネルと取付板をささえる人と、ネジで固定する人の、2人以上で行ってください。
- 操作パネル取付板を取り付けるために操作パネルを裏返すときは、左側のカバーを押さえながら裏返してください。カバーを押さえずに裏返すと、カバーが開き、中のトレイなどが落ちる可能性があります。
- 操作パネルを裏返してネジで固定する場合、操作パネルが傷付いたり破損することを防ぐために、平らな台の上で、柔らかい布などの上に置いてください。
- 操作パネルの破損を防ぐため、ネジをきつく締めすぎないでください。
- 操作パネルに接続している操作パネル用ケーブルのコア（円筒形の部品）が、操作パネル取付板の内側に入るようにして取り付けてください。

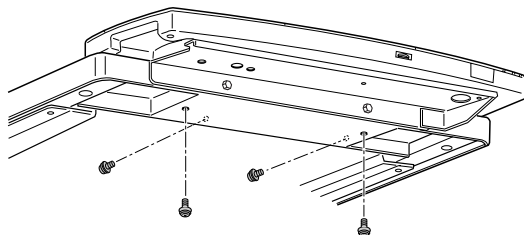
3 操作パネルを専用スキャナスタンドに取り付けます。

専用スキャナスタンド前面にカバーが装着されている場合、ネジ（2本）を外して、カバーを取り外してから差し込んでください。



4 専用スキャナスタンドと操作パネルを固定します。

専用スキャナスタンドに同梱のネジ（4本）で固定します。

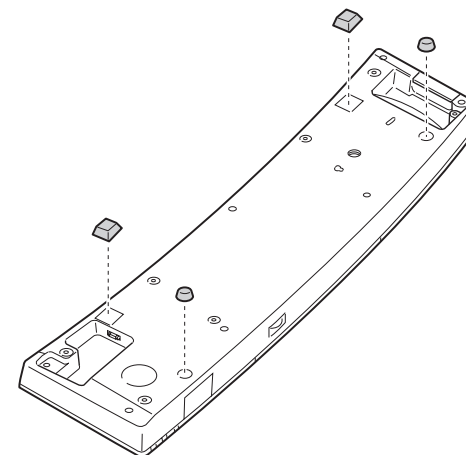


以上で専用スキャナスタンドへの取り付けは終了です。
次にケーブルを接続します。次のページへ進みます。

専用スキャナスタンドを使用しない場合

専用スキャナスタンドを使用しない場合、本製品に同梱のゴム脚を、操作パネルの底面に貼り付けて使用してください。

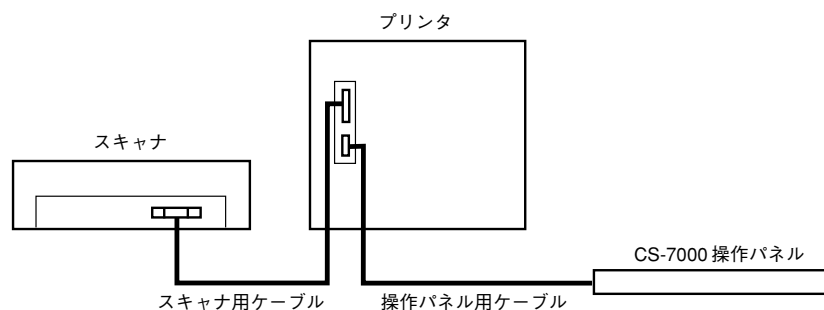
ゴム脚（大：2個）は、操作パネルの背面側に、ゴム脚（小：2個）は、正面側に貼り付けます。



ケーブルの接続

CS-7000 の操作パネルとスキャナを、プリンタに装着した I/F カードのコネクタに接続します。

接続の概要は、下図のようになります。

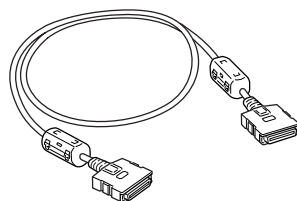


接続するケーブル

同梱のケーブルには、次の 2 種類があります。接続の際は、コネクタの大きさと向きを確認して、接続するケーブルを間違えないようにしてください。

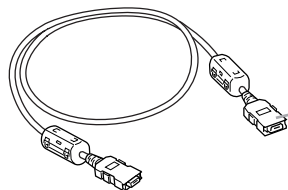
- **スキャナ用ケーブル：**

コネクタの大きいケーブルです。スキャナ用 I/F カードとプリンタ用 I/F カードの接続に使用します。



- **操作パネル用ケーブル：**

コネクタの小さいケーブルです。操作パネルとプリンタ用 I/F カードの接続に使用します。



オプションのスキャナスタンドを使用している場合、すでに片側は操作パネルに接続された状態になっています。

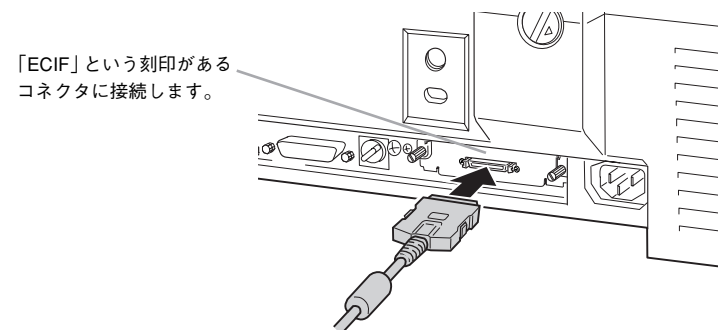
接続手順

① スキャナとプリンタの電源をオフにします。

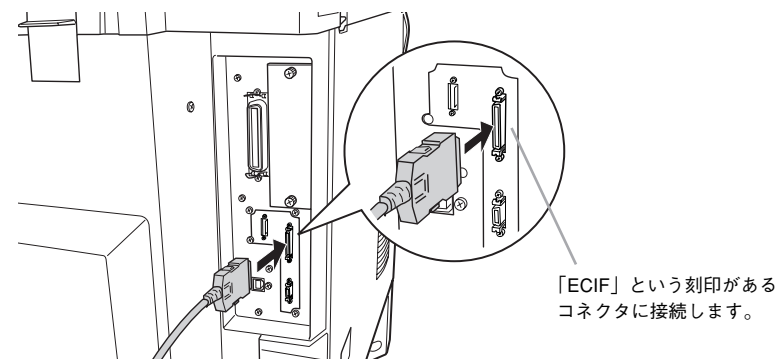
② スキャナとプリンタを接続します。

スキャナ用ケーブル（両端のコネクタが大きいケーブル）を、スキャナに装着した I/F カード背面のコネクタに接続します。もう片方はプリンタに装着した I/F カードの「ECIF」という刻印があるコネクタに差し込みます。カチッという音がして、確実に差し込まれたことを確認してください。

- スキャナ側（ES-9000H の場合です）

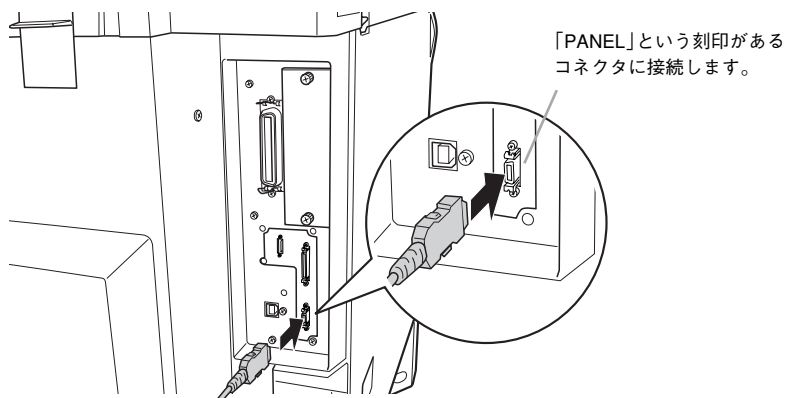


- プリンタ側（LP-9500C/LP-9500CZ の場合です）



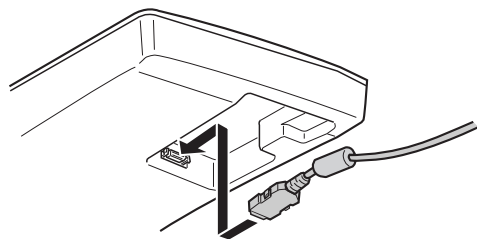
3 操作パネルとプリンタを接続します。

操作パネル用ケーブル（両端のコネクタが小さいケーブル）を、プリンタに装着した I/F カードの「PANEL」という刻印があるコネクタに差し込みます。カチッという音が出て、確実に差し込まれたことを確認してください。



ポイント

専用スキャナスタンドを使用しない場合は、操作パネル右側のコネクタにケーブルを接続します。コネクタ部はカバーで覆われていますので、ケーブルを外すときは側面のバネ部をしっかりと押しながら外してください。



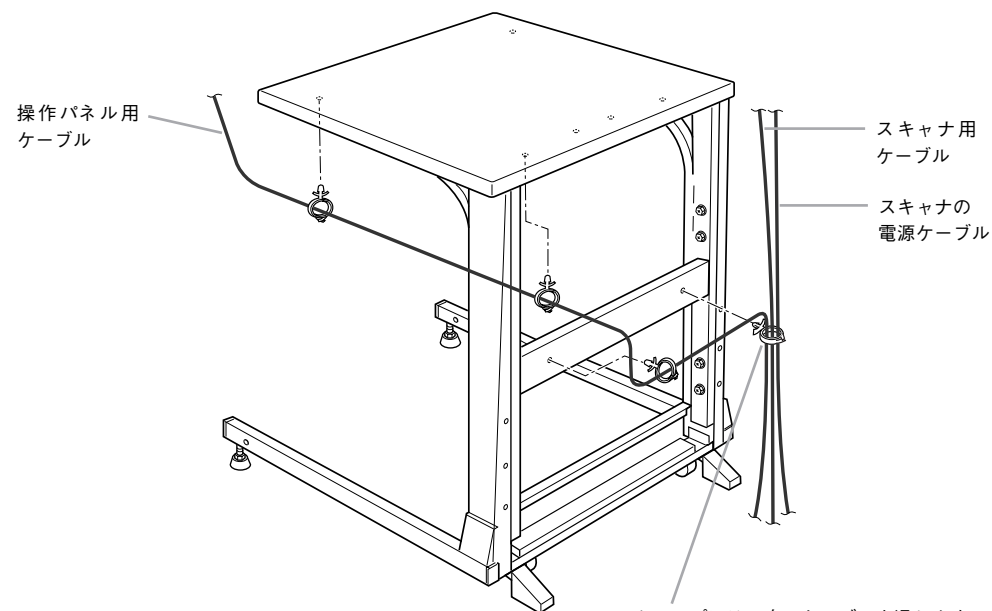
以上でケーブルの接続は終了です。
最後に動作確認を行います。次のページへ進みます。

ケーブルの固定について

専用スキャナスタンド（CSCBN7A、CSCBN8A）を使用する場合、専用スキャナスタンドに同梱のクランプ（止め具）を下図の位置に取り付けてください。

専用スキャナスタンド（CSCBN7A）の場合

スキャナを載せる台の裏側のクランプ（2 個）に操作パネル用ケーブルを通します。スタンド背面のクランプ（2 個）に、操作パネル用ケーブル、スキャナ用ケーブル、スキャナの電源ケーブルを図のように束ねて通します。



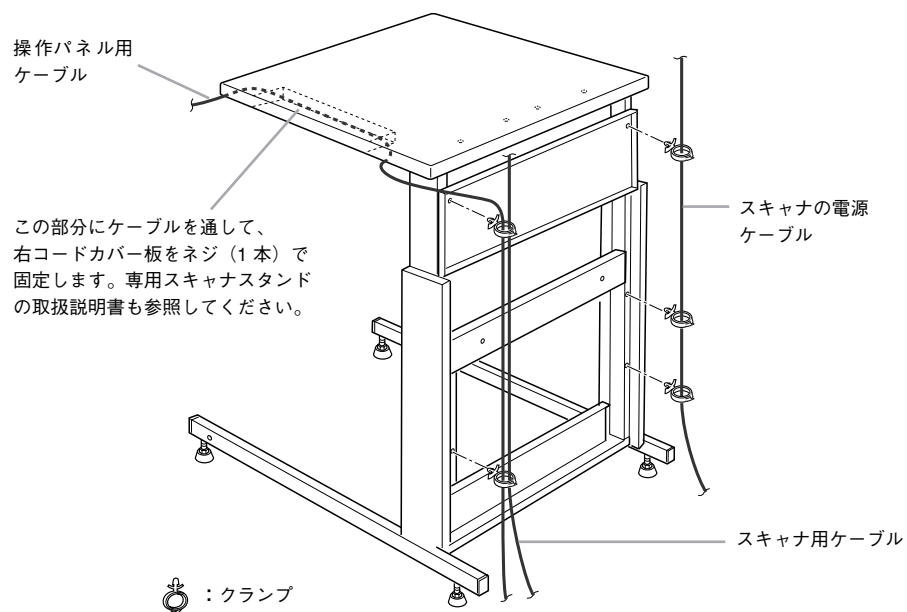
 : クランプ

このクランプには、次のケーブルを通します。

- 操作パネル用ケーブル
- スキャナ用ケーブル
- スキャナの電源ケーブル

専用スキャナスタンド (CSCBN8A) の場合

スキャナを載せる台の裏側に操作パネル用ケーブルを通します。
スタンド背面のクランプ (2 個) に操作パネル用ケーブルとスキャナ用ケーブルを束ねて通します。
スタンド背面のクランプ (3 個) に、スキャナの電源ケーブルを通します。



動作確認

スキャナ、プリンタの電源をオンにして、動作の確認を行います。

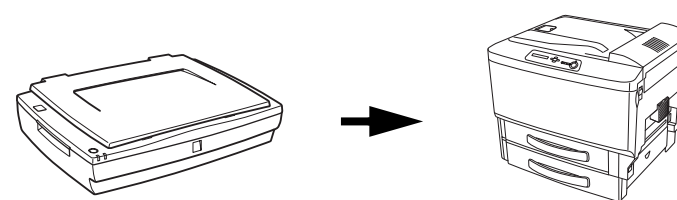
電源のオン

プリンタの電源をオンにすると、CS-7000 の電源もオンになります。
電源がオンになると、CS-7000 はプリンタとスキャナの接続や、それぞれの状態を確認します。

電源投入の順序

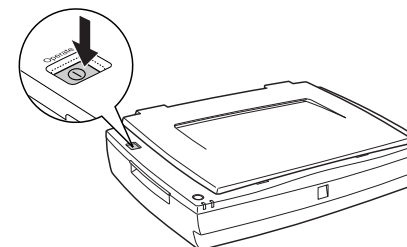
① スキャナ

② プリンタ



1 スキャナの Operate スイッチを押して電源をオンにします。

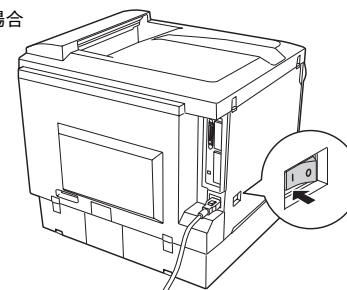
ES-9000H の場合



2 プリンタの電源スイッチを押して電源をオン (I) にします。

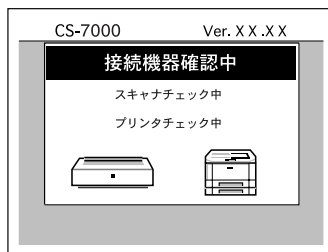
プリンタの電源をオンにすると、CS-7000 の電源もオンになります。

LP-9500C/LP-9500CZ の場合

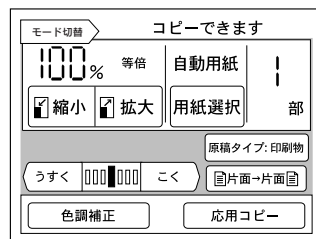


- 3 CS-7000 がスキャナとプリンタのチェックを始めます。
チェックが完了すると、コピー基本画面が表示されます。

確認中画面



コピー基本画面



装着されているオプションや接続されているスキャナの機種により、画面の内容が異なる場合があります。



ポイント

- オプションを接続時などは、チェックに時間がかかる場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、以下のページを参照して対処してください。
📖 コピー操作ガイド 59 ページ「エラーメッセージ」
- 操作パネルに何も表示されない場合は、各ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）またはお買い求めいただいた販売店またはエプソン修理窓口へご相談ください。

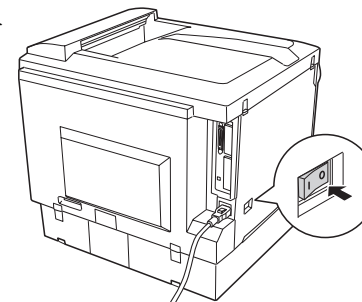
電源のオフ



コピー実行中や、電源をオンしてからコピー基本画面が表示されるまでの間は、各機器の電源をオフにしないでください。動作不良や故障の原因になります。

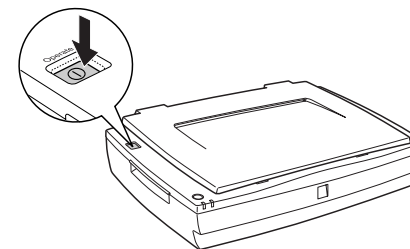
- 1 プリンタの電源をオフにします。
CS-7000 の電源もオフになります。

LP-9500C/LP-9500CZ の場合



- 2 スキャナの電源をオフにします。

ES-9000H の場合



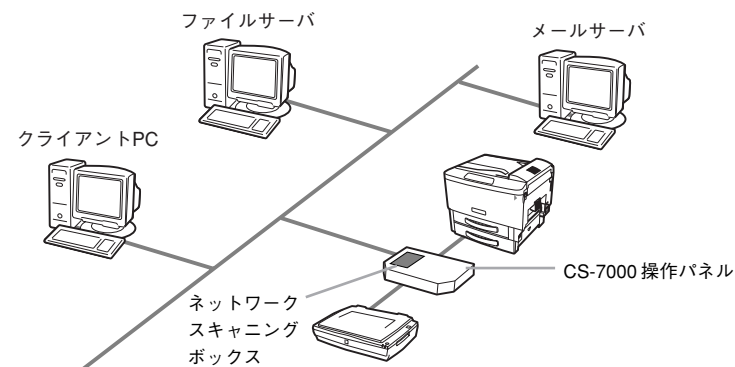
以上で動作確認は終了です。
この後は、コピー操作ガイドをご覧ください、実際にコピーを実行してください。

ネットワークスキャニングボックス の取り付け

ここでは、オプションのネットワークスキャニングボックスを装着、接続する手順について説明します。

- ネットワークスキャニングボックスについて 26
- ネットワークスキャニングボックスの取り付け 27
- ケーブルの固定 29

ネットワークスキャニングボックスについて



オプションのネットワークスキャニングボックス（ESNSB2）を使用することで、スキャナをネットワーク上で使用できるようになります。コピーシステムと連動させると、操作パネルのボタンを押すだけで、スキャンした画像をファイルサーバに直接保存することができます（サーバスキャン機能）。また、スキャンした画像を電子メールに添付して送ることもできます（スキャン E メール機能）。

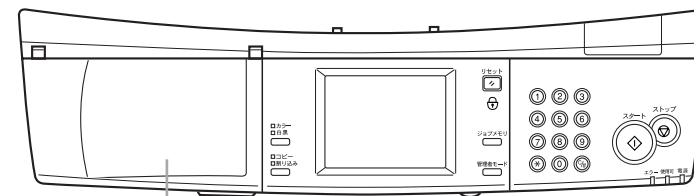


ポイント

本製品と接続した状態で、スキャナをネットワーク上で使用する場合は、スキャナまたはネットワークスキャニングボックスに添付の次のソフトウェアが必要です。

- ネットワークスキャンの場合：
「EPSON Scan」
- サーバスキャン、スキャン Eメールの場合：
「EpsonNet ScanAgent」および「EpsonNet ScanEditor」

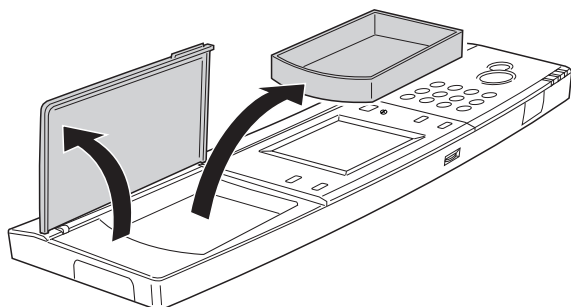
ネットワークスキャニングボックスは操作パネルに収納することができます。ネットワークスキャニングボックスとスキャナの接続については、ネットワークスキャニングボックスに同梱の取扱説明書を参照してください。ここでは、CS-7000の操作パネルにネットワークスキャニングボックスを取り付ける手順について説明します。



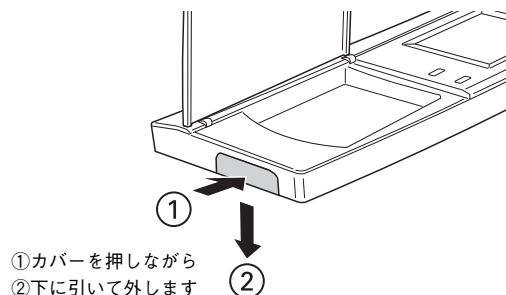
ネットワークスキャニングボックス収納スペース

ネットワークスキャニングボックスの取り付け

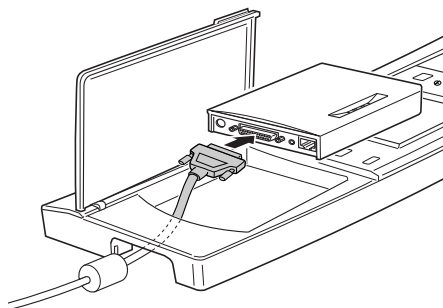
- ① 操作パネル左側のカバーを上げて、中に入っているトレイを取り出します。



- ② 操作パネル左側面のカバーを、矢印の方向に引いて取り外します。

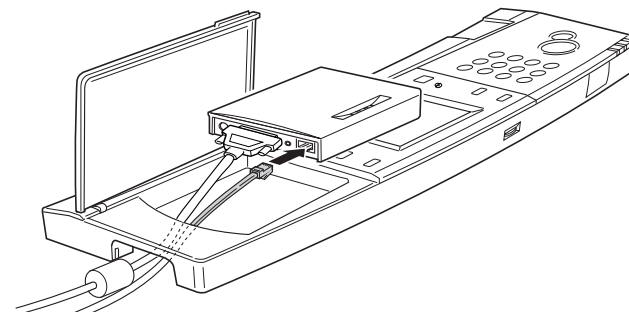


- ③ ネットワークスキャニングボックスのケーブルを接続します。
ケーブルを操作パネル左側から通して接続します。

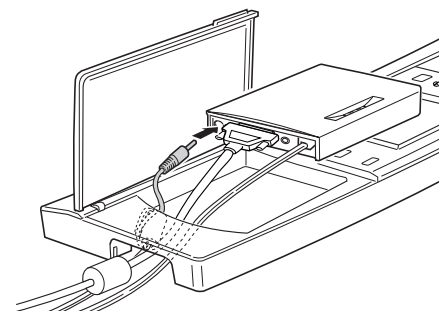


- ネットワークスキャニングボックス底面に、ゴム脚を装着している場合、ゴム脚を取り外してください。ゴム脚を外さないと操作パネルに収納できません。
- ESNSB1 の場合は、スキャニングボックス本体およびケーブル、コネクタの形状が図と異なります。ESNSB1 取扱説明書の図と反対の向きになる側のコネクタを接続してください。

- ④ ネットワーク I/F のケーブルを、ネットワークスキャニングボックスに接続します。

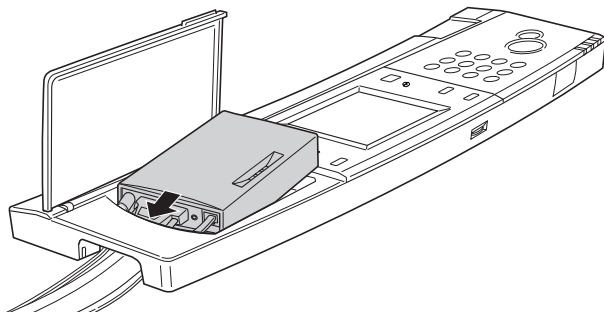


- ⑤ ネットワークスキャニングボックスの AC アダプタのケーブルを接続します。



- 6 ネットワークスキャニングボックスの左側を、図のように操作パネル左側のくぼみに差し込みます。

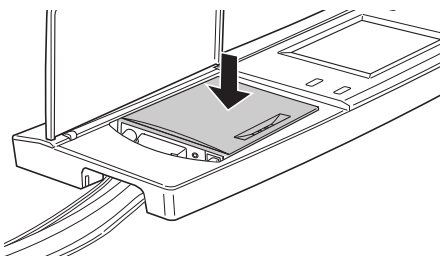
ケーブルが外れないように、ゆっくりと差し込んでください。



ポイント

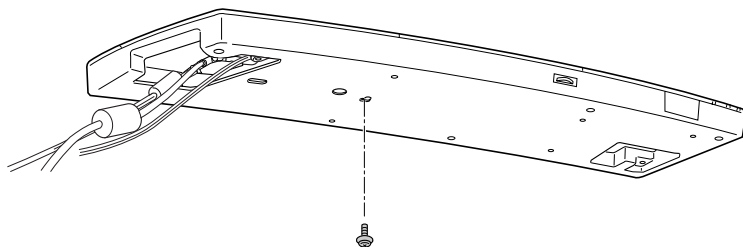
各ケーブルが外れていないか、ケーブルに無理な力がかかっていないかを確認してください。

- 7 右側をゆっくり下げて、完全に操作パネルの中に収納します。

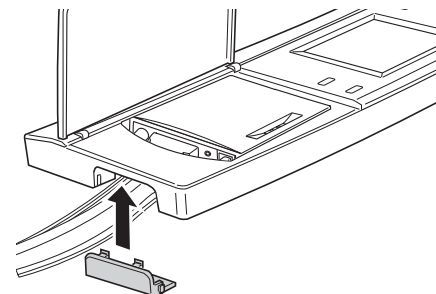


- 8 操作パネルの裏から、ネジ（1本）で固定します。

ネジは、本製品に同梱されています。座金の付いているネジを使用してください。ESNSB1の場合は、2本のネジで固定します。



- 9 操作パネル左側面のカバーを、元通りに取り付けます。



ポイント

操作パネルを専用スキャナスタンドに取り付けていない場合、ケーブル類に無理な力がかからないよう、左側面のカバーを必要に応じて外すことができます。また、操作パネル底面に、同梱のゴム脚を貼り付けてください。

- 10 操作パネル左側のカバーを閉じます。

以上で、ネットワークスキャニングボックスの取り付けは終了です。

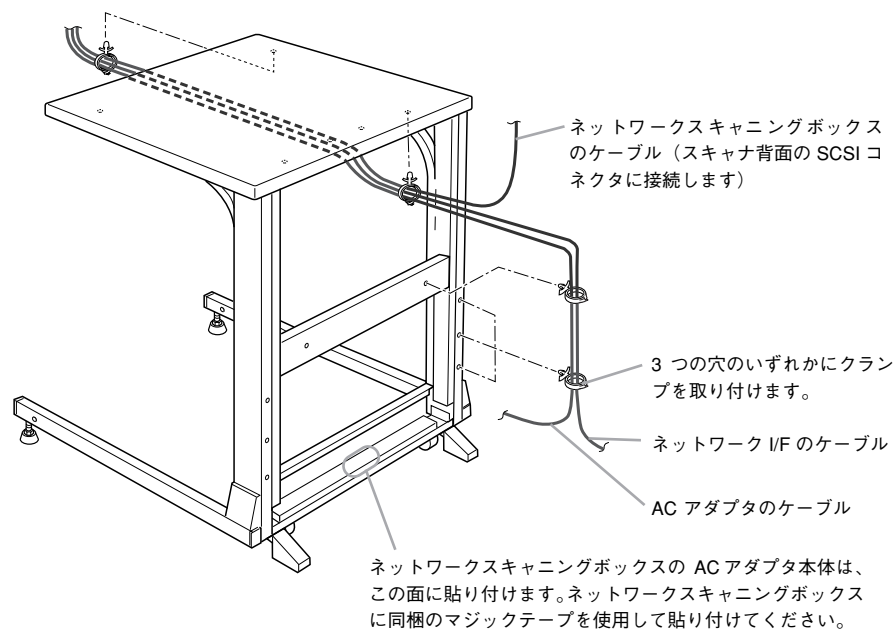
この後はネットワークスキャニングボックス添付の取扱説明書を参照いただきセットアップを完了してください。

ケーブルの固定

専用スキャナスタンド (CSCBN7A、CSCBN8A) をご利用の場合は、専用スキャナスタンドに同梱のクランプ (留め具) を下図の位置に取り付け、ケーブルを束ね、クランプに通して固定してください。

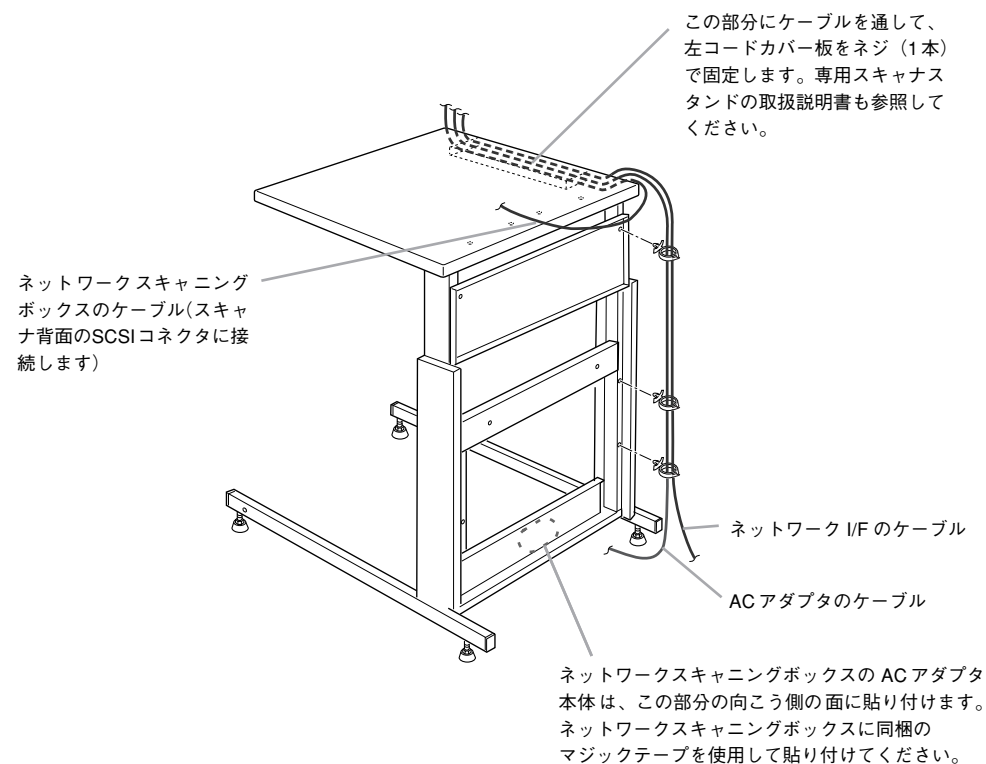
専用スキャナスタンド (CSCBN7A) の場合

スキャナを載せる台の裏側のクランプ (2 個) にケーブルを束ねて通します。スタンド背面のクランプ (2 個) にネットワーク I/F のケーブルと AC アダプタのケーブルを束ねて通します。AC アダプタ本体は、ネットワークスキャニングボックスに同梱のマジックテープを使って、専用スキャナスタンド下図の面に貼り付けてください。



専用スキャナスタンド (CSCBN8A) の場合

スキャナを載せる台の裏側にケーブルを通します。スタンド背面のクランプ (3 個) にネットワーク I/F のケーブルと AC アダプタのケーブルを束ねて通します。AC アダプタ本体は、ネットワークスキャニングボックスに同梱のマジックテープを使って、専用スキャナスタンド下図の面に貼り付けてください。



FAX ボックスの取り付け

ここでは、オプションのFAX ボックスを装着、接続する手順について説明します。

● FAX ボックスについて30

FAX ボックスについて

オプションのFAXボックスを使用することで、FAX機能が使用できるようになります。FAX ボックスは専用スキャナスタンドに取り付けることができます。ここでは、FAX ボックスをスキャナスタンドに取り付ける手順、およびケーブル等を接続する手順を説明します。

FAX ボックスの取り付け

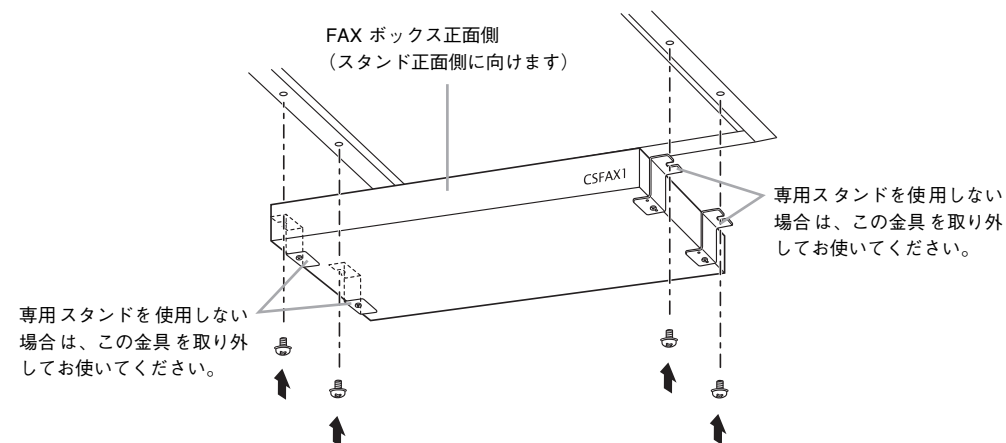
ここでは、専用スキャナスタンドにFAX ボックスを取り付ける手順について説明します。



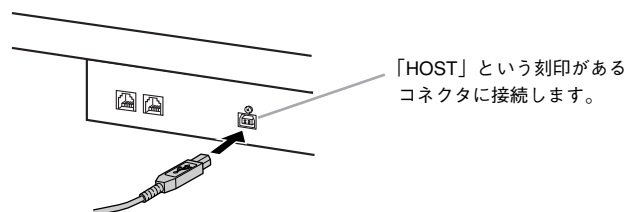
- FAX ボックスは、コピーユニットの準備が終了してから取り付けを行ってください。
☞ 本書 20 ページ「コピーユニットの準備」
- FAX ボックスを取り付ける前に、必ずプリンタとスキャナの電源をオフにしてください。
- FAX ボックスの取り付けは、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと落下のおそれがあります。

FAX ボックスの同梱物については、FAX ボックスに同梱のシートを参照してください。

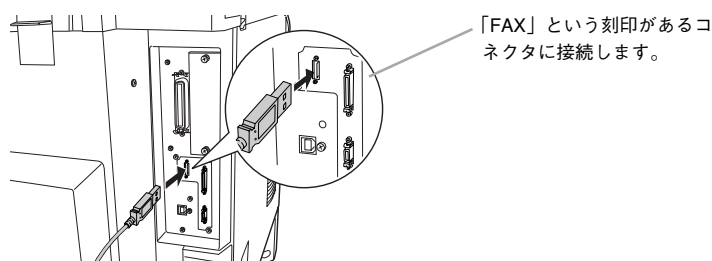
- 1 FAX ボックスに同梱のネジ(4本)を使って、専用スキャナスタンドのスキャナを置く板の裏側にFAX ボックスを固定します。



- 2 FAX ボックスに同梱のUSBケーブルのタイプBコネクタ(=)を、FAX ボックス背面の「HOST」という刻印があるコネクタに差し込みます。
確実に差し込まれたことを確認してください。



- 3 USBケーブルのタイプAコネクタ(=)を、プリンタに装着したI/Fカードの「FAX」という刻印があるコネクタに差し込みます。
確実に差し込まれたことを確認してください。

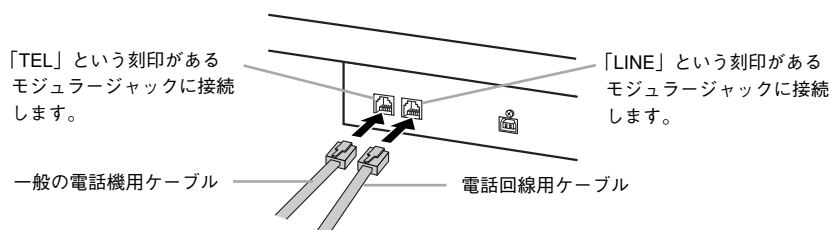


- 4 FAX ボックスに同梱の電話ケーブルを、FAX ボックス背面の「LINE」という刻印があるモジュージャックに差し込みます。もう一方は、電話回線用のモジュージャックに差し込みます。

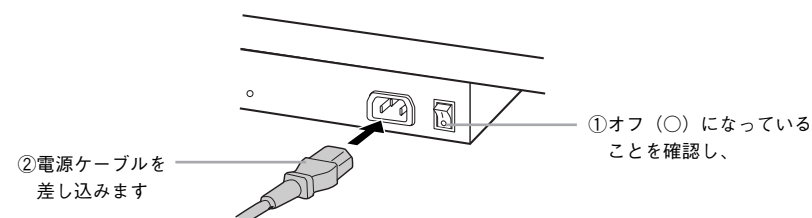
FAX ボックスには、一般の電話機を接続できます。一般の電話機を接続する場合は、FAX ボックス背面の「TEL」という刻印があるモジュージャックに一般の電話機の電話ケーブルを差し込みます。



- 留守番電話機能などが搭載されている多機能電話機は、FAX ボックスに接続しないでください。FAX ボックスが正常に機能しない場合があります。
- スキナスタンドにFAXボックスを取り付けた状態で一般の電話機を接続する場合は、市販の電話台などに一般の電話機を置いてください。



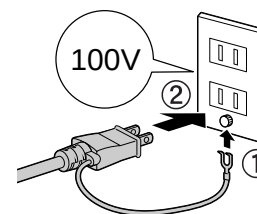
- 5 FAXボックス背面のPOWERスイッチがオフ(○)になっていることを確認してから、FAXボックス背面のACインレットに電源ケーブルを差し込みます。



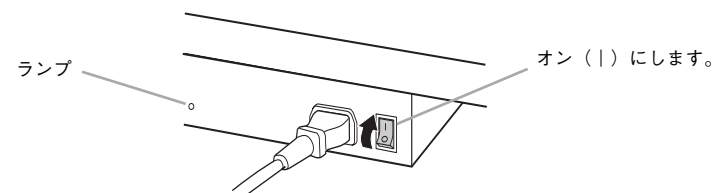
- 6 アース線を接続してから、電圧がAC100Vのコンセントに電源ケーブルのプラグを差し込みます。



- コンセントにアース線の接続コネクタがある場合は、アース線を接続してください。
- 多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感ずることがあります。このようなときは、アース(接地)を取ることをお勧めします。



- 7 FAXボックス背面のPOWERスイッチ(Ⅰ)を押して電源をオンにします。
FAXボックス背面のランプが点灯するか確認してください。確認できれば正常です。



以上でFAXボックスの取り付けは終了です。
この後は、FAX操作ガイドをご覧ください、実際にFAXを実行してください。

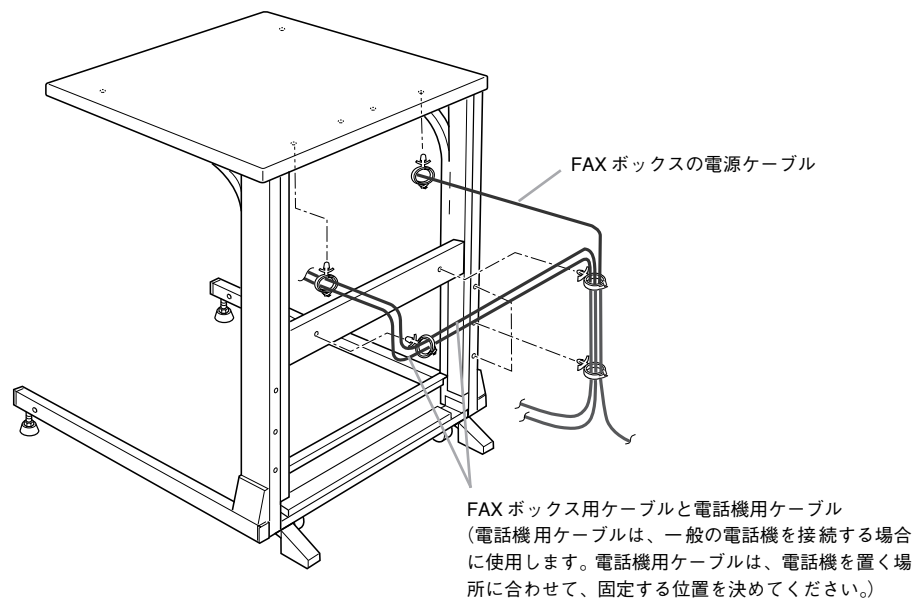
ケーブルの固定

専用スキャナスタンド (CSCBN7A、CSCBN8A) をご利用の場合は、専用スキャナスタンドに同梱のクランプ (留め具) を下図の位置に取り付け、ケーブルを束ね、クランプに通して固定してください。

専用スキャナスタンド (CSCBN7A) の場合

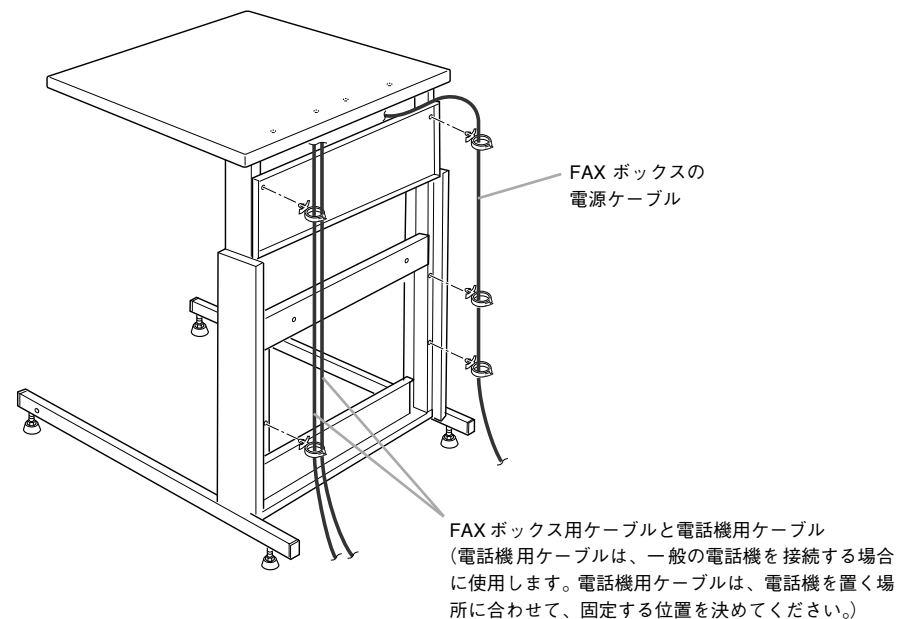
スキャナを載せる台の裏側のクランプ (2 個) に、FAX ボックスの電源ケーブルと電話ケーブルをそれぞれ通します。

スタンド背面のクランプ (3 個) に FAX ボックスの電源ケーブルと電話ケーブルを束ねて通します。



専用スキャナスタンド (CSCBN8A) の場合

スタンド背面のクランプ (3 個) に FAX ボックスの電源ケーブルを通します。
スタンド背面のクランプ (2 個) に電話ケーブルを通します。



EPSON ESC/Pageはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
IBM PC、IBMはInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、TrueTypeはApple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条 など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について ー 注意 ー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制競技会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- ② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑥ エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式会社の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌(011)222-7931 仙台(022)214-7624 東京(042)585-8555 名古屋(052)202-9531 大阪(06)6399-1115
広島(082)240-0430 福岡(092)452-3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日を除く)

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042)585-8444 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●スクール(エプソンデジタルカレッジ)講習会のご案内

東京 TEL(03)5321-9738 大阪 TEL(06)6205-2734

【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*スケジュールはホームページにて、ご確認ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.i-love-epson.co.jp/> ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2002. 2. 28(B)



この取扱説明書は再生紙を使用しています。

改訂履歴

Ver.	改訂内容		日付
00	ALL	新版	2003.4.16

